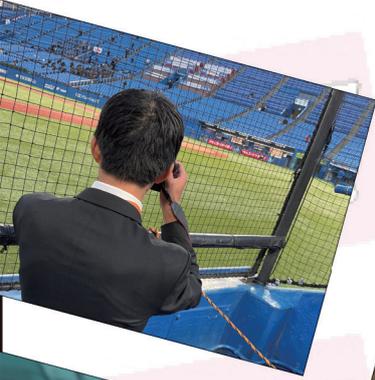


ジャーナリズム・政策研究所 2024



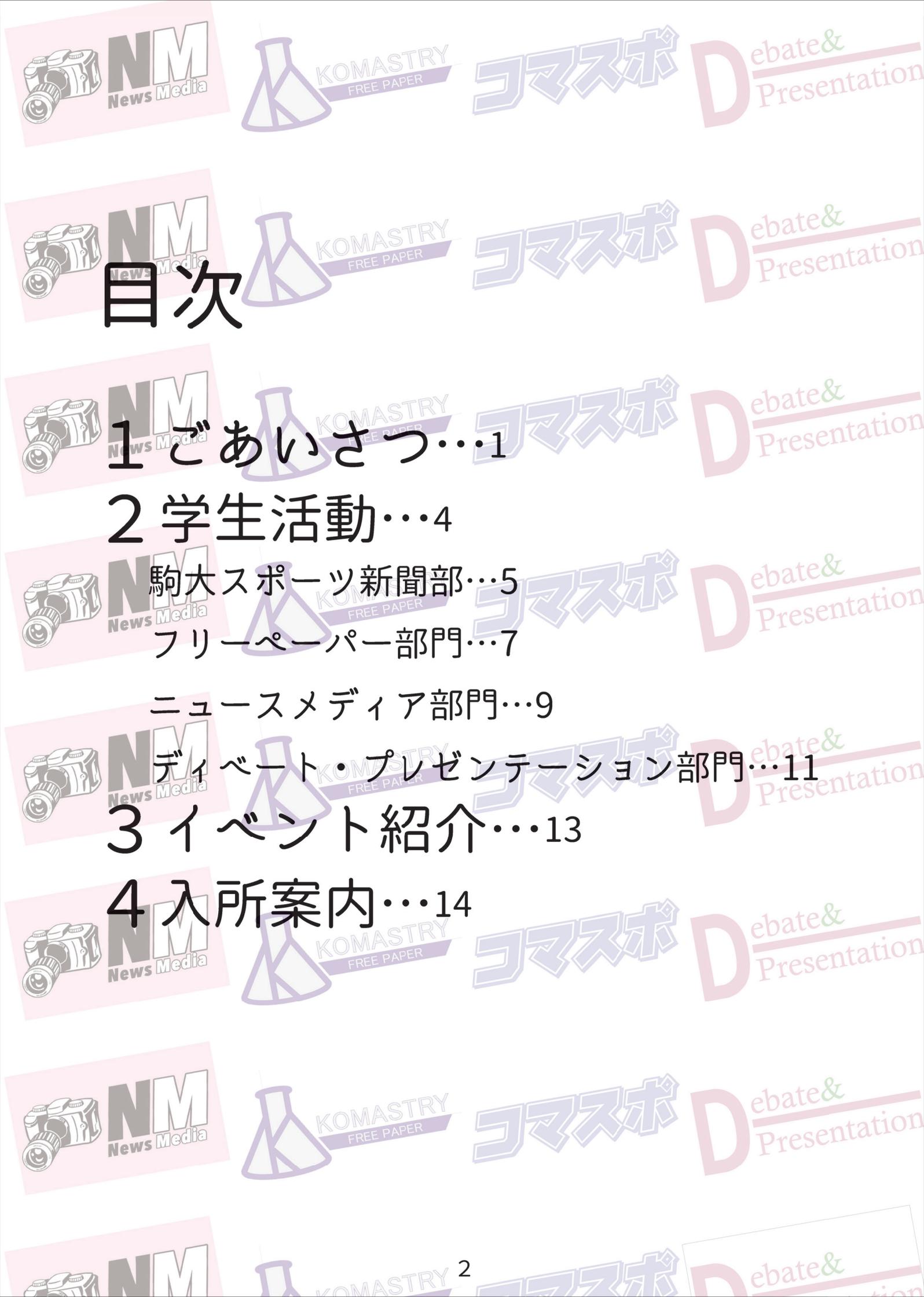

**Institute for Journalism
& Policy Studies
Komazawa University**

ジャーナ研で一生ものの経験を。

ジャーナリズム・政策研究所とは

駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所（通称：ジャーナ研）は、ジャーナリズムや政策に関する総合的な研究と、関連分野に進みたい学生に対する特別指導を行う研究所です。特別指導は精選された講師陣による「ジャーナ研講座」と自治的自主的な学びの学生活動の2本柱でおこなっています。

ジャーナ研は、これらの活動を通じてジャーナリズムや政策を深く考えると同時に、未来を担う次世代をはぐくんでいきたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。



目次

1 ごあいさつ...1

2 学生活動...4

駒大スポーツ新聞部...5

フリーペーパー部門...7

ニュースメディア部門...9

ディベート・プレゼンテーション部門...11

3 イベント紹介...13

4 入所案内...14

所長あいさつ



富崎 隆

法学部 政治学科
教授

駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所は、ジャーナリズムや政策に関する総合的な研究に加え、関連する分野に進みたい学生らに対する特別指導をおこなう研究所です。これらの活動を通じ、激変するメディア環境におけるジャーナリズムや政策のありようを考えるとともに、未来を担う次世代をはぐくむことを目的としています。

研究成果は「研究所年報」や公開講演会などを通じて社会に公表し、学生への特別指導はメディアの第一線などで活躍中の方々による多彩な講座と、新聞制作やディベートなど学生の自治的自主的な学びの2本柱でおこなわれています。

みなさんのご参加をお待ちしています。

学生会会長あいさつ

駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所(通称: ジャナ研)は、特別講師による「ジャナ研講座」と学生活動である4つの部門から構成されています。年間発行部数17万部以上を誇る駒大スポーツ新聞編集部、雑誌を作成するフリーペーパー部門、映像制作をおこなうNM部門、ディベート・プレゼンテーションをおこなうディベプレ部門があります。これらの活動は、全て学生によって自主的自治的におこなわれています。取材や編集ソフトの使用など実践的な活動が多く、4部門ではそれぞれ貴重な経験を得ることが出来ます。

是非参加お待ちしております！

廣岡 良祐

法学部政治学科3年



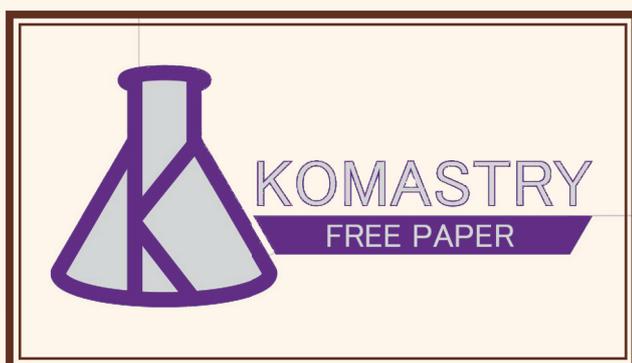
ジャーナリズム・政策研究所は、4つの部門が存在し、興味のある部門に分かれて活動しております。複数の部門を掛け持ちしている部員もいます。



駒大スポーツ新聞編集部



ディベート・
プレゼンテーション部門



フリーペーパー部門



ニュースメディア部門

Back Number



コマスポは、年4回(4月:春号、7月:夏号、11月:秋号、1月:箱根号)+号外で新聞を発行しています。こちらはコマスポが今まで作成してきた新聞です。

新聞の発行部数は年間17万部以上。駒大スポーツ新聞編集部(通称:コマスポ)では、本学の体育会を主に取り上げる機関紙として活動しています。各競技の試合に行き、試合中は写真撮影、試合後は選手や監督にインタビューをし、コマスポ公式サイトやSNS等で最新記事を発信しています。また、年に4回紙媒体の新聞制作も行っています。本格的な新聞を一から自分たちで作るのは大変ですが、その分だけ完成したときの達成感やそこで得た貴重な体験は、一生忘れない経験になります。みなさんも、記者としてコマスポと一緒に充実した最高の学生生活を送りませんか。

ぜひ参加をお待ちしております。

坂元 采夏
経済学部商学科3年

Basic Information

- ◎メンバー ◎活動日 ◎公式HP
- 3年生 9人 取材は主に休日 www.komaspo.com
- 2年生 26人 <1回の新聞制作にあて ◎公式Twitter
- る期間は2週間ほど> ◎公式Instagram

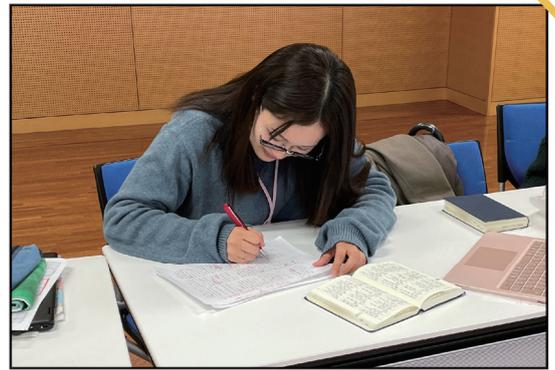


制作の流れ



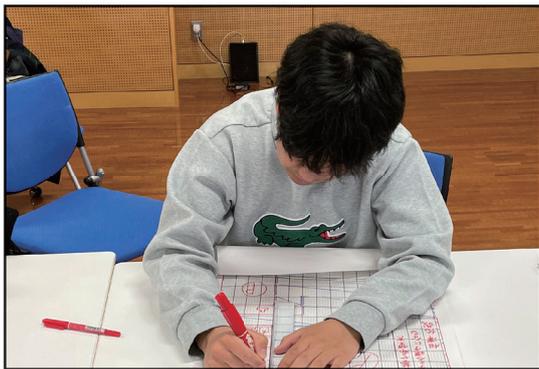
1. 取材

現地で選手のプレー写真を撮ったり、アポを取ってインタビューを行います。



2. 記事制作

新聞制作期間に入ったら取材をもとに記事を書き、添削をします。



3. 編集期間

写真や記事のレイアウト構成を考えます。



4. 完成！

最後にミスがないか全員でチェックして新聞が完成します！

pick up

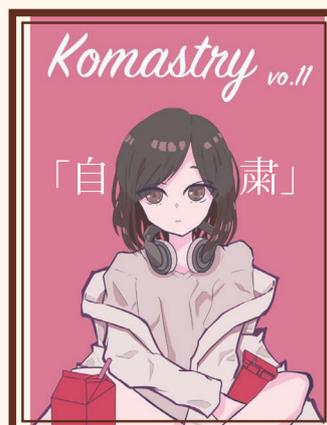
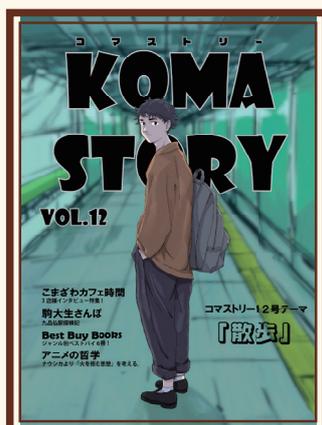
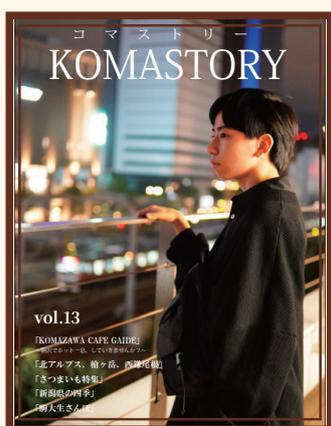
駒大スポーツ映像班



コマスポでは2022年の10月からYouTubeを開設しております。普段の紙面やSNSだけでは伝えきれない部活や選手の活動、また、私たちの取材の様や裏側をお届けします！

動画編集ができる人、挑戦してみたい人の入所も大募集しております！

Back Number



フリーペーパー部門では不定期にKomastoryというフリーペーパーを発行しています。こちらはフリペ班が制作してきたKomastoryの表紙です。

フリーペーパーとは、「誰でも無料で手に取ることができる冊子」のことです。フリペ部門では「駒大ならではの大学生活を共有する」をコンセプトに、Komastoryという冊子を制作しています。各号ごとにテーマを決め駒大周辺を中心に取材を行い、自分たちの手で一から編集して紙面づくりを行います。AdobeソフトのInDesignやillustratorなどを利用した紙面編集を行います。また、Komastoryの制作だけではなく、今ご覧になっているジャーナリズム・政策研究所のパンフレットの制作も担当しています。未経験でも先輩たちに教えてもらいながら、記事制作に挑戦できます！

ぜひ、フリーペーパー班に入って一緒に素敵な冊子を作りませんか？皆さんの参加をぜひお待ちしております！

廣岡 良祐
法学部政治学科3年

Basic Information

◎メンバー

4年生 1人

3年生 4人

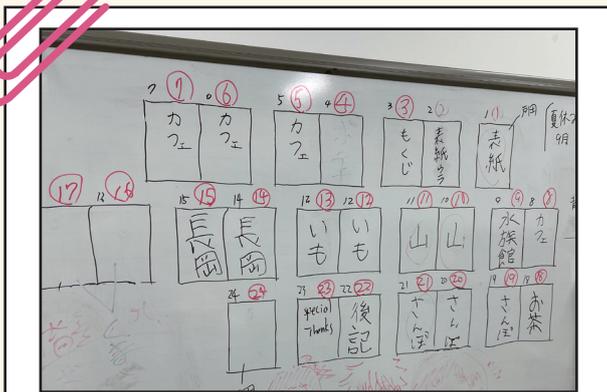
1年生 5人

◎活動日

毎週火曜日 18:00頃から

(時間割に応じて変更可能)

制作の流れ



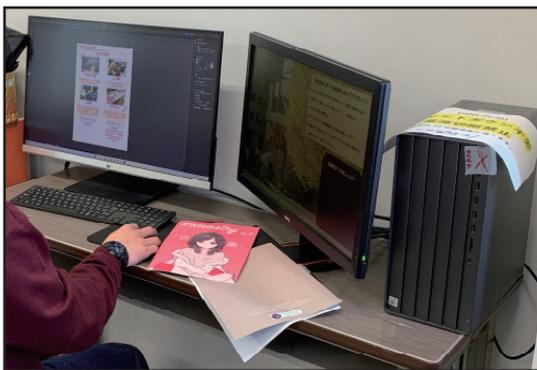
1, 全体会議

班員の案を集めて大きなテーマを一つ設定し、そのテーマから企画を考えていきます。



2, 取材

アポが取れたら撮影、取材に行き、撮影を行います。



3, 編集

Illustrator、Photoshop、InDesign これらのAdobeのソフトを使って紙面編集を行います。アプリは通常有料ですが、学生会が所有するパソコンに予め備わっているため自由に使うことができます。



4, 完成!

それぞれが作成したページをまとめ、1冊の本にします。全員でミスがないかをチェックした後は製本業者に依頼し、紙の冊子の完成です。

Komastory の由来

「Komastory」とは、駒大の「Koma」と物語の「story」を掛け合わせた造語で、「駒大生の物語を紡ぐ雑誌」という意味が込められております。読み方はコマストーリーです。

駒大生の目線から、様々な企画を立てて雑誌を制作します!

InDesign とは?

InDesignとは、書籍や雑誌、パンフレットなどのデザインやレイアウトを行うためのアドビシステムズが提供しているソフトです。これを使いこなせることで、本格的な雑誌などを作ることができます。

ディベート・プレゼンテーションとは？

我々の行なっているディベートとは、ある公的な問題(例：救急車有料化等)については是側(賛成意見)、否側(反対意見)の異なる立場からそれぞれの意見を交わし、議論する活動のことです。またプレゼンテーションは、ある業界を想定し、その社員になりきり、会社はその業界を生き抜くためのアイデアなどを考えてパワーポイントを用いて発表します。

まさに“言葉で戦うスポーツ”です。

過去扱ってきたテーマ

ディベート

- 2018年春 救急車有料化の是非
- 2018年夏 高速道路無料化の是非
- 2019年春 消費税引き上げの是非
- 2019年夏 救急車の有料化の是非
- 2021年春 図書館民営化の是非

プレゼンテーション

- 2019年 かつぱ寿司の利益向上に向けた新たなビジネスプランの提案
- 2020年 菓子業界における利益拡大に向けたビジネスプランの提案
- 2021年 栃木県の観光振興に向けた観光戦略の提案

ディベート・プレゼンテーション部門では、名前の通り、ディベートとプレゼンテーションの活動を行います。ディベート活動では、「消費税増税」や「救急車有料化」、「図書館民営化」といった政策課題について、インターネットや図書館で調査を行い、その問題について討論します。また、プレゼンテーション活動では、「回転寿司業界」や「製菓業界」などの国内産業について調査を行い、ある1社の立場に立ち、企画、発表を行います。活動は、いずれも2～4名の班を構成して行います。4月～6月にかけてディベート活動を、9月～11月にかけてプレゼンテーション活動を行います。これらの活動を通して、理論的な思考力や情報収集能力、人前で話す能力などが養われます。

現在は、部員数が少なく満足いく活動がおこなわれていません。そのため、新入所者を大募集しております。人数次第では、ディベートの大会に出場することも検討しております。

皆様のご参加をお待ちしております！

Basic Information

◎活動日

活動期間中週に2から3日
(2から3時間程度)

◎活動期間

春ディベ	3月～6月
夏ディベ・プレ	8月
秋プレ	9月～11月

4月～6月

春季ディベート

3月から活動している2、3年生に、5月から新入生も加わって本格的な活動がスタートします。初めてのディベートで不安に思うかもしれませんが、心配はいりません。先輩もほとんどがジャナ研に入ってからディベートを始めているので、基礎の基礎から親身になって教えてくれます。

8月

夏季ディベート・プレゼンテーション

春季ディベートと異なる点は、1、2、4年生で活動を行うところです。年度によって異なりますが、ディベート2週間、プレゼン1週間と短期間で集中して行われます。4年生もプレイヤーとして参加するため、4年生との仲も深まり、思い出に残る夏になること間違いありません。

9月～11月

秋季プレゼンテーション

1、2年生のみでの活動です。PowerPointやExcelを駆使して企画書や発表用のスライドを製作します。PowerPointはゼミや就活、また、就職してからも使う場面が多くあります。1年生の早いうちからパソコンに使い慣れておくことで、ほかの学生より一歩進んだ状態から始めることができます。

ディベプレで身につく能力って？

ジャナ研のディベートでは主に三角ロジックを使って文章などを組み立てて行きます。そして、ディベートの試合では各々の発言時間に制限なども設けられているため、学校の授業やほかのサークルにはない、論理力を身に付けることができます。また、プレゼンテーションでは企業や業界について徹底的に調べた上でプレゼンをするので就職活動で必要となってくるスキルや知識を習得できます。



本番の様子



ディベート、プレゼンテーションどちらもホテルの会議室や広間の一室を借りて行います。ディベートの本番は班でおそろいのTシャツを作ったり、プレゼンテーションの本番は全員スーツを着たり、この日のために準備してきた活動の成果を発揮するべく、どの班も真剣そのものです。本番後は、発表まで共に頑張ってきた仲間たちと色紙にメッセージを書きあったり、談笑をしながら活動を振り返り、思い出に浸ります。



ニュース・メディア部門 (NM) では、「動画」作品を専門とし、それを中心に制作・研究を行っています。動画編集はもちろんのこと、「企画・構成・撮影」も自分たちで行なっています。機材などは、ジャナ研所有のカメラや自身の所有しているものを使用しています。動画といっても、ビデオカメラで撮影したものだけでなく、カメラで撮影した写真を映像にしたり、アフレコを当てたり、アニメーションを作ってみたりと、様々な形の動画制作を行なっています。昨年度、全体活動としては、コンペティションにドラマを1本制作しました。個人活動としては、自分が身につけたい技術を個人課題とし、お互いに協力しながらスキルを身につけていました。本年度は昨年度に引き続き、様々なコンペティションへの挑戦と、さらなる技術向上を行っていこうと考えています。活動は、用途に合わせてオンライン上・対面のハイブリット方式で引き続き行おうと考えています。動画が好きな方のご参加、お待ちしております！一緒に素敵な動画を制作していきましょう!!

志村 采美
経営学部市場戦略学科2年

Basic Information

◎メンバー

3年生 3人

2年生 3人

◎活動日

毎週月曜日 18:00 頃から

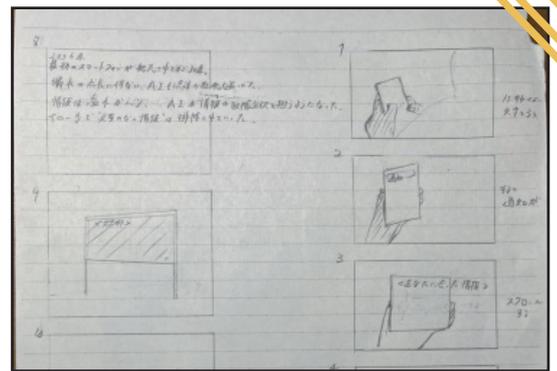
(時間割に応じて変更可能)

制作の流れ



1. 企画会議

各々企画を考え、映像のジャンル（CM・ドラマ・ショートムービー等）を決め、構成を考えます。



2. 絵コンテ作成

構成を絵コンテとして書き起こし、イメージを絵や文章、セリフなどに起していきます。



3. 撮影

絵コンテで制作したカット割りをもとに撮影を行います。NMではビデオカメラ、iPhoneなど、様々なカメラを使用しています。また、照明やグリーンバック、マイクなど機材も充実しており、本格的な撮影が可能です。

Adobe Premiere Pro とは？

Adobe Premiere Proとはアドビシステムズが提供する映像編集ソフトのことです。主にプロの編集者が使用しており、近年では多くのYouTuberも使用しています。MVやPV・映画・テレビ番組など皆さんが普段目している映像作品の多くがこの編集ソフトで作られています。

4. 編集

最後に編集です。NMではジャナ研が所有するパソコンでAdobe Premiere Proを使用しています。編集ではカット・テロップを入れたり、様々な効果をつけて見栄えをよくします。最初は難しいですが、先輩に教えてもらいながらやると意外と簡単にできます。

映像を作る楽しさ

皆さん、一度は映像を作りたいと思ったことはありませんか？テクノロジーの進歩により、今まではテキストや音声とでは伝えることができなかったものが”映像”という新たなツールによって表現の幅が広がりました。どんな映像作品も撮影方法・編集の仕方など創りが全く変わってきます。映像を自らの手で作ることで映像について深く学ぶことができます。過去に見た作品でも今までとは違う良さを味わうことができるかもしれません。そこに、映像を作ることの楽しさがあります。

イベント紹介

ジャーナリズム・政策研究所では年間を通して様々なイベントを行っています。
昨年度は4月：サークルフェスティバル 9月：入所式・総会 11月：メディアフォーラムなどを行いました。コマスポでは、他大学スポーツ新聞と交流を深める東西合宿などにも参加しました。

4月 // サーフェス



ジャナ研も他のサークルや団体と同じく、サークルフェスティバルに参加します。新入生の皆さんを勧誘する機会であると共に、学生会で一丸となり取り組む大きな行事でもあります。

オータムフェスティバル // 11月

昨年度はオータムフェスティバルに学生会として参加し、ブースと模擬店を両方出店しました。学内や地域の方に活動を知っていただく良い機会となりました。



11月 // メディアフォーラム



2月初旬、お世話になった4年生を送り出す追い出しコンパが行われます。美味しい料理を食べたり、この1年

ジャナ研では、毎年講演会などを主催しており、昨年度は主に駒大OBのメディア関係者をお招きし、フォーラムを開催しました。シンポジウムに加えて、交流会を行い、メディア関係者と意見を交わす良い機会となりました。

入所案内

ジャーナリズム・政策研究所には以下の3つの入所資格があります。

1. 学生研修員

本学在学学生対象。ジャーナ研の学生フルメンバーとして2つの特別指導＝ジャーナ研講座と自治的自主的学びである各部門の学生生活動に参加できます。また、深沢校舎にある研修施設（学生作業室・学生会議室・資料室）が自由に利用できます。入所にあたっては、入所試験を受ける必要があります。**会費が発生します。1年生は2万円、2年生は1万5千円、3年生は1万円、4年生は5千円です。**

2. 学生聴講員

本学在学学生対象。ジャーナ研講座に参加することができます。入所にあたっては、登録をおこなう必要があります。**会費が発生します。（年5千円）**

3. 一般聴講員

一般社会人、他大学生対象。ジャーナ研講座に参加することができます。入所にあたっては、登録をおこなう必要があります。**会費が発生します。（社会人：年1万円／他大生：年5千円）**

	特別指導		研修施設	入所手続き	会費
	学生生活動	ジャーナ研講座			
学生研修員	○	○	利用可	試験	1年生2万円 2年生1万5千円 3年生1万円 4年生5千円
学生聴講員	×	○	利用不可	登録	年5千円
一般聴講員	×	○ 5講座まで	利用不可	登録	一般社会人 ：年1万円 他大生：年5千円

〈ご注意〉

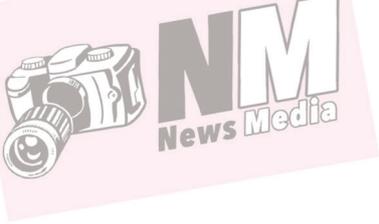
- ・試験や登録の申し込みはジャーナ研のホームページでおこないます。
- ・学生研修員に対しては入所説明会を開催予定です。
- ・一般聴講員の会費納入には期限がありますので、ご注意ください。

以上を含め、入所資格や手続き、会費などの情報はジャーナ研のホームページ（入所案内）で必ずお確かめください。

右のQRコードをスマホなどで撮るとリンクします。アドレスもご利用ください。

<https://www.komazawa-u.ac.jp/research/labo/kjps/about.html>



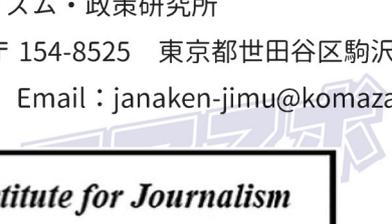
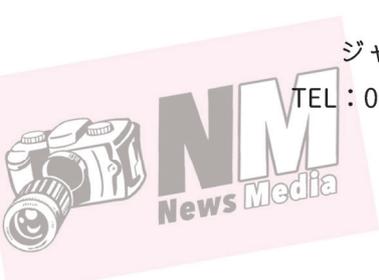


2024 年度駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所パンフレット

編集 / ジャーナリズム・政策研究所

ジャーナリズム・政策研究所事務局 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL : 03-6381-8901 FAX : 03-3702-9626 Email : janaken-jimu@komazawa-u.ac.jp




**Institute for Journalism
& Policy Studies**
Komazawa University